

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	防衛大学校 学生舎D棟	階数	地上4F地下1階
建設地	神奈川県横須賀市走水1-1994-1他	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	547 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年7月15日
敷地面積	7,977 m ²	作成者	南関東防衛局
建築面積	3,189 m ²	確認日	2011年7月15日
延床面積	13,010 m ²	確認者	南関東防衛局



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

建設	54%
維持・更新・解体	54%
運用	54%
オンサイト	54%
オフサイト	54%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
防衛大学校の学生が起居する学生寮として使用する建物である。東西各棟に中庭を配し中央部に当直、管理室、東西に寝室、自習室等の学生が使用する居室を配置し、効率的に使用可能な平面計画とし、建物の熱負荷を抑制する計画とした。三浦半島最南端の高台に位置することから、海風による劣化を考慮し外壁に陶磁器質タイルを使用し構造体の耐久性向上を計った。	0
Q1 室内環境 寝室の床構成は畳床とクッションを採用した。界壁はRC造とし遮音性能の向上をはかった。学生の起居する居室は全て寝室と自習室が隣合う計画として照明制御を容易にし省エネルギー効果を高める計画とした。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内は全て芝生を施し、敷地内の温熱環境の向上を図った。また空調設備の排熱を伴う機器は全て建物屋上に設置して、敷地内の暑熱環境を緩和するよう配慮した。
LR1 エネルギー 東西に長く、廊下を挟んで左右に寝室が並ぶ形の建物では廊下の採光が確保できない為、東西に中庭を配置して廊下の自然採光を確保し照明設備の使用に伴う消費エネルギーを抑制する計画とした。	LR3 敷地外環境 廃棄物分別回収促進の為に多種分別容器の設置スペースを設け必要数を満たす容器を設置する計画とした。風致地区に指定されていることから、建物を4階建、高さ15m以下とし、日照障害、風害の抑制に配慮した計画とした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい